事例No.	2501
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	福島県昭和村

事例区分	地域活性化

タグ	・人材確保・育成 ・移住定住 ・関係人口

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

夏秋期生産量日本一の昭和かすみ草「百年産地」を目指して

出典

令和5年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域連盟会長賞

福島県昭和村（しょうわむら）

昭和村（しょうわむら）

夏秋期生産量日本一の昭和かすみ草「百年産地」を目指して



「花育」の集大成として、村内の中学生が東京都の大田市場で競り前PRを行う。

審査講評

評価のポイント

- カスミソウの「百年産地」を目指す、昭和村の生産者、JA、教育機関、自治体の協働の取組が、昭和かすみ草のブランド力を強化し、新規就農者の確保や極めて高い定着（移住定住）率につながっている点。
- カスミソウという地域資源を40年に渡って磨き上げてきた持続性、村の基幹産業としてさらなる発展に期待が持てるような、企画力と推進力。

審査委員のコメント

教育を重視した取組で、広がる地域資源の可能性。

新規就農者を増やすために最短1泊2日～最長4泊5日の日程で、先輩農家のもとで農機具の実習やマーケティングなどを学べる「かすみの学校」や、子どもたちへの「花育」など、地域資源をフル活用した取組のオリジナリティは、他の自治体の参考になり得ます。

食の世界では匂いの強いカスミソウは飲食店などのテーブル上には飾りにくい花の一つとされていますが、臭気を抑える技術をさらに進化させてPRすることで、これまでタブーだった飲食業界への販路拡大も見込めるのではないかと考えられます。



取組の概要

豪雪地帯という特徴を活かして、夏季の保冷に雪を使用する「雪室」を整備したことで、カスミソウの品質確保・向上が可能となり、夏秋期の生産量日本一、国内シェアの6割を達成している。

また、カスミソウ栽培の担い手確保・育成事業にも取り組んでおり、直近5年の就農定着率は100%であった。さらに、村内の小中学生にカスミソウ栽培体験（「花育」）を行っており、次世代のふるさとへの愛着の醸成と村の基幹産業への理解につながっている。



雪資源を活用した雪室を整備し、夏季の保冷に活用することでカスミソウの品質確保・向上を図っている。



インターンシップ事業「かすみの学校」では、村内のカスミソウ農家でUIターン者を受け入れ、栽培体験を行っている。



「花育」の一環で村内の小中学生がカスミソウの収穫体験を実施。



生産者自らスーパーの店頭に立ち販促活動を行っている。

取組のKEY PLAYER



舟木 幸一さん
［昭和村 村長］

カスミソウの力が地域の未来をつなぐ。

「自然減を社会増で補う」さまざまな取組を行っています。村では過疎化・少子高齢化によるカスミソウ栽培の担い手確保が課題となっていますが、インターンシップ事業による新規就農者の受け入れを行い、高い定着率を実現しているところです。また、村内の子どもたちにも小学生の頃から栽培に関わってもらうことで、村の産業への理解や、将来に渡るふるさとへの愛着形成などに寄与するよう取り組んでいます。

審査による現地調査でのヒアリング対象者

永戸 敦さん［昭和村産業建設課 課長］／菅家 祐博さん［昭和村産業建設課産業係 係長］／栗村 良輔さん［昭和村教育委員会 教育長］／土橋 康弘さん［昭和村立昭和中学校 校長］／栗城 久登さん［カスミソウ生産者］

福島県昭和村（しょうわむら）

団体名 …… 昭和村
所在地 …… 〒968-0103 福島県大沼郡昭和村下中津川字中島652
連絡先 …… TEL：0241-57-2111
E-mail：sangyou@vill.showa.fukushima.jp
URL：https://www.vill.showa.fukushima.jp/



自治体・団体の詳細はこちらからご覧いただけます。